

潮が



ながす議会だより

No.122



平成27年第2回(6月)定例会

平成27年度一般会計補正予算を可決 ②

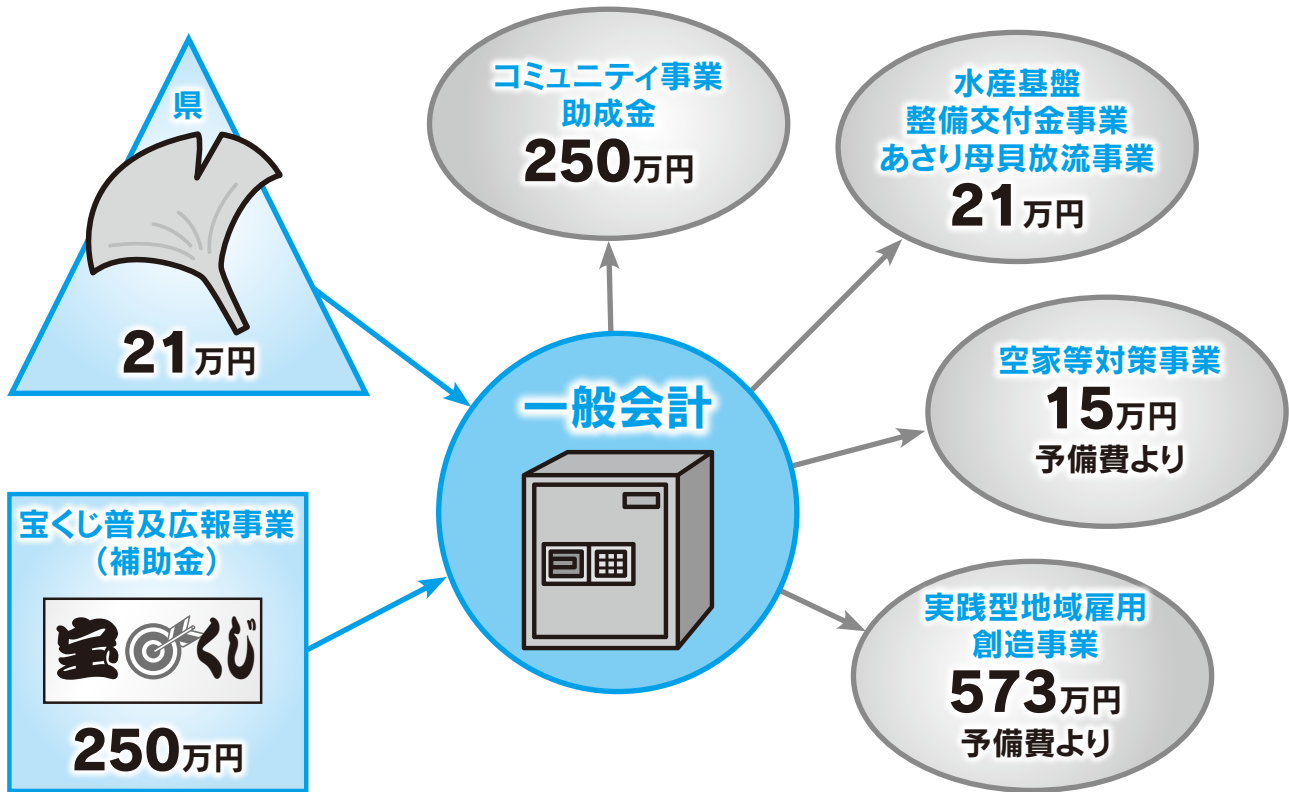
地方創生に向けて ④

一般質問 11人が登壇し町政を問う ⑤

6月27日 『どろんこ妖〜怪』泥んこになっても怒られないゾ〜!

ふだんは静かな田園風景に、子どもたちの笑顔、歓声、悲鳴がはじけた。(葛輪区)

平成27年第2回(6月)定例会 雇用拡大を期待して —— 全議案可決 ——



専決処分とは
議会の権限に属する事項について、町村長が議会に代わって意志決定を行うことで、議会が議決したのと全く同じ法律効果が発生する。地方自治法第179条に基づく緊急の場合の専決処分は、次の議会で承認を求めなければならない。

- 主な内容**
- ◎番号法施行に伴う税条例の改正
 - ◎二輪車等の税率引き上げの1年延期
 - ◎ふるさと納税の拡充
 - ◎住宅ローン減税の適用期間の延長
- 全員賛成 承認

専決処分

6月定例会は、6月18日から24日まで7日間の会期で開催した。補正予算1件、条例3件、承認2件、報告1件、諮問1件、議員提案2件を審議し、全議案可決した。

	対象世帯
7割軽減	世帯の前年中の総所得金額等が33万円以下の場合
5割軽減	世帯の前年中の総所得金額等が33万円を超え、33万円+26万円×(被保険者数+特定同一世帯所属者数)以下の場合
2割軽減	世帯の前年中の総所得金額等が33万円を超え、33万円+47万円×(被保険者数+特定同一世帯所属者数)以下の場合

国民健康保険税条例の改正

主な内容

- ◎課税限度額の引き上げと軽減対象者の拡大。医療分
- 改正前51万円↓改正後52万円
- 後期高齢者支援金分
- 改正前16万円↓改正後17万円
- 介護分
- 改正前14万円↓改正後16万円

合計
改定前81万円↓改定後85万円
(介護分なしの場合69万円)
賛成11 反対2 承認

平成27年度 一般会計補正予算の主な事業

事業名	予算額 (万円)	事業概要
コミュニティ事業助成金	250	地域のコミュニティの活性化等を目的に「宝くじの普及広報事業」から交付される助成金で、今年度は大明神区のワイヤレス放送システムの整備を行う。
空家等対策事業	15	空家等対策の推進に関する特別措置法第6条により空家等対策計画作成等を行うため、同法第7条及び長洲町空家等の適正管理及び有効活用に関する条例に基づく協議会委員の報酬及び費用弁償。
水産基盤整備交付金事業 (漁協漁場整備分)	21	あさり漁獲高、品質向上を目指し熊本北部漁協が実施するあさり母貝放流事業に対する補助金。
実践型地域雇用創造事業	573	町内の各種団体から構成される長洲町地域雇用創造協議会を立ち上げ、就職促進・新商品開発セミナー・起業化に向けた取り組みを展開し、地域資源を活かして雇用を創造するべく国からの委託事業として委託金を受けて取り組む。 各種メニューの実施主体は協議会であり、町は、国から協議会が委託金の交付を受けるまでの当面の運転資金の貸付けを行うとともに委託金の対象外となる協議会委員の報酬等を補助金として交付し、協議会は、国から委託金が交付された後に、町から受領した貸付金の返済を行う。

条例改正

町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する一部改正

問 (大森議員)

町の介護報酬が下がってサービス低下になるので

答 (福祉保健介護課長)
利用者の立場に立つて考える。

全員賛成 可決

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める改正

問 (宮本議員)

准看護師までを保育士とみなす理由は。

答 (子育て支援課長)
看護師の確保が困難であるため、准看護師の知識を活かし従事することができる。

全員賛成 可決

補正予算

問 (磯野議員)

コミュニティ事業助成金にどれだけの区が申請されたか。

答 (総務課長)

7行政区の申し込みがあり、放送機器のない大明神区に無線放送システムを設置。

全員賛成 可決

議員提案

◎常任委員会の選任規定の改正

◎長洲町議会地方創生に関する調査特別委員会の設置

人事案件

○人権擁護委員



入口 秀記氏 (磯町区)

全員賛成 適任者として答申



地方創生に向け大きく羽ばたく 特別委員会を設置

全議員賛成

設置理由

全国的に少子高齢化が加速するなか、市町村における問題や課題は多岐にわたり、地域の疲弊化^{ひへいか}を招いている。それは本町においても同様であり、早急な対策が求められている。地域の活力を取り戻し、活性化を図るため、いま国が推進する地方創生の取り組みを余すところなく活用し、地域の特色や地域資源を生かし、住民に身近な施策を幅広く盛り込んでいく必要がある。そのためには、議会と行政が車の両輪となつて推進することが重要であり、総合戦略の策定段階から十分な調査・審議を重ねる必要があるため。

1 特別委員会の名称

長洲町議会地方創生に関する調査特別委員会とする。

2 設置の目的

本町における人口減少の克服と地方創生についての推進、調査。

3 委員の定数

13人とする。

4 設置の期限

この特別委員会は、本設置目的が終了するまでとし、議会の閉会中も継続して調査できるものとする。

委員長 福本みや子
副委員長 浦辺 朝章

特別委員会とは

議会が特に必要があると認めた事件を審査するため、その都度設置される委員会を指し、常任委員会と異なり常設的な機関ではありません。そのため、案件が消滅すれば特別委員会もその必要性がなくなり、消滅します。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」のポイントと政策の基本目標

国の基本目標

- ① 地方における安定した雇用を創出
- ② 地方への新しい人の流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

○すべての都道府県及び市町村は、平成27年度中に「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」の策定に努める。

○地域経済分析システム(ビッグデータ)等を活用し、地域特性を把握した効果的な政策立案。

○明確な目標とKPI^{*1}(重要業績評価指標)を設定し、PDCAサイクルによる効果検証・改善。

○地方公共団体を含め、産官学金労^{*3}言、女性、若者、高齢者などあらゆる人の協力・参画を促す。

○地方議会も策定や検証に積極的に関与。各々の地域での自律的な取組と地域間連携の推進。

*1 Key Performance Indicator(略。政策ごとの達成すべき成果目標として、日本再興戦略(2013年6月)でも設定されている。

*2 PLAN(計画)・DO(実施)・CHECK(評価)・ACTION(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法。

*3 (産)産業界(官)地方公共団体や国の関係機関、(学)大学等の高等教育機関、(金)金融機関、(労)労働団体(言)メディア。



歴史ウォーキングで地域学習



宮本哲太郎議員

土曜授業は子どもたちの何が狙いか

答 豊かな体験活動と学力向上が目的である

問 県内小中学校での土曜授業実施が21市町村の119校となり全体の23%で、うち40校は通常教科を当てるとあり、学力向上に活用する姿勢となっている。土曜授業について町の動きはどうか。

答 (教育長) 昨年から小学校で年2回実施している。中学校では日程の調整ができて実施を見送っている。地域と連携した体験学習や外部人材の協力を得たり、工夫しながら実施する。

問 子どもたちの何を狙うの教育なのか。

答 (教育長) 児童の土曜日の豊かな体験活動と学力向上を狙いとしている。国は学力向上に狙いがあるが、県は体験活動を重視している。

問 効果はあらわれているか。

答 (教育長) 地域の方々や保護者も参加され、学校の歴史や学校を愛する心を育んできた。

問 地域の文化的な教育も取り組んでいるか。

答 (教育長) 校区の遺跡めぐりやふるさと教育も考えている。

問 休校日の授業だが子どもたちの反応

はどうか。

答 (教育長) 土曜日ということ

で親子の触れ合いができるので喜んで

問 保護者との話し合いはできていたのか。

答 (教育長) 年度当初の校長会

において年2回の土曜授業実施は保護者には伝えていた。

問 先生の負担はどうか。

答 (教育長) 代替の日に調整することで理解をもらっている。

問 忙しくて休めない先生もいると思うが。

答 (教育長) 校長、教頭が管理

して休みを指示する。

問 通常授業が取り入れられたら学校同士の学力競争になる。

答 (教育長) 町では通常授業にはあまり時間を取つていない。学力の差は今後の検証と思う。

問 通常授業が取り入れられたら学校同士の学力競争になる。

答 (教育長) 町では通常授業にはあまり時間を取つていない。学力の差は今後の検証と思う。

問 通常授業の考えはないのか。

答 (教育長) 玉名管内が足並みをそろえないと町だけでは動けない。

問 国の推進事業で県内にも指定校がある。

答 (教育長) その検証あたりをみて今後考えていく。

問 年2回の土曜授業は、これからふえないのか、ふやさないのか。

答 (教育長) 年2回実施できればらく続けていく。



児童の授業風景



市原一広議員

「消滅可能都市」発表から1年、町では独自に分析・検証はされたのか

答7月中には取りまとめ、総合戦略に活かしたい

問 2014年5月、日本創成会議が発表した調査結果は、多くの自治体や住民に衝撃を与えた。2040年までに20歳から39歳の女性が半減する自治体を「消滅可能都市」と表現し、その中に長洲町も含まれていた。あれから1年がたち、

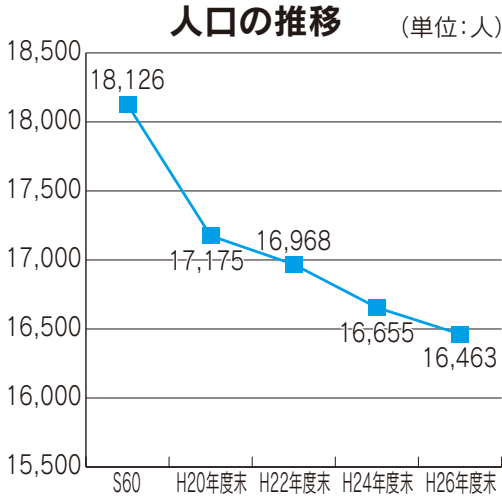
答 (町長) 人口の推移をみると、平成22年度末

が1万6968人、平成26年度末が1万6463人と、4年で505人減少しており、人口減少と少子化への対策が急務だ。現在、人口構成やその増減、将来人口予測等の人口に関する分析や、事業所数、製造出荷額、労働生産性といった町内構

答 (まちづくり課長) 町ではコンサルに委託をして分析を行っており、分析結果を7月中に取りまとめた



20数社が入る荒尾鉄工団地



※昭和60年は国勢調査における人口
H20年度末とは、平成21年3月31日現在のこと。

人口減少の影響は大

中小零細企業の進出・規模拡大への支援の充実を

答体制づくりは進めていく

問 現在の長洲町は「金魚とものづくり(製造業)のまち」と言っても過言ではない。しかし今、大きな企業を支える町内の中小零細企業家は、規模拡大のため移転したくてもいい場所がない。また

答 (町長) 起業に向けた支援については現在、商工

問 規模拡大のため、町内の企業が、町外の工業団地等へ移ら

答 (町長) これから進出、あるいは拡大していく企業のためにもしっかりと支援、相談体制づくりを進めていきたい。



体育館にトイレを



浜村芳光議員

六栄小学校の体育館にトイレが必要では 答 今後検討する

問 六栄小学校の体育館にはトイレが無い。屋外プールに並んで男女共同トイレが設置されており、道路から丸見えで使用しづらい。また、体育館での授業でトイレに行く場合には東棟のトイレを使用しなければならぬ。教育施設の充実のためにトイレの設置は必要

であると思うが。

答 (教育長)

現状においてトイレが使用できない状態ではない。今後検討する。

問

体育館と13分団の格納庫の間にトイレを設置すればいいのでは。

答 (教育長)

前向きに検討していく。

問

六栄小学校の運動場は排水設備が十分でないため、水はけが悪く、雨が降ればグラウンドの状態が非常に悪い。水道ができ砂が流され、赤泥が見え、凹凸が激しい芝系の草

答 (学校教育課長)

長洲中学校では、表土2センチぐらいを重機で草と一緒にカット

問

子どもが怪我をする危険性がある。早急な整備が必要だと思うが。

答 (学校教育課長)

トして、山砂を入れ、重機でならし整備をした。同様の工法を考えている。

問

暗きよ排水設備をしなければ根本的な解決にはならないのでは。

答 (学校教育課長)

新しく暗きよを入れると費用もかなり、相当日数グラウンドが使えない状態になる。長洲中学校で行った工法で考えている。

腹栄中学校の自転車置場は校舎の裏手にあり、校舎に入るまで距離がある。雨が

答 考えていない

ひどく降る時は、かなり体がぬれた状態で校舎に入る。そういった自転車通学をする生徒

自転車置場からの渡り廊下設置を



渡り廊下設置を

のために雨にぬれずに、自転車置場から校舎へ入れるような措置(例えば、屋根がある渡り廊下等)ができないか。

答 (教育長)

校舎裏側は臨時駐車場となっており、工

事関係車両の出入口になつていて、ため渡り廊下等を設置すれば使いが悪くなる。現在そのまま子どもたちが雨にぬれないような施策を考えていく。



福永栄助議員

人事評価・勤務評定について

答 勤務評定の結果をもとに人事配置などの人事管理に活用している

問 人事管理は、組織を活性化させ、職員に生きがいを感じさせてこそ、住民によりよいサービス提供ができるのである。だとすると、この意義は決して小さいものではない。そこで従来の勤務評定で、評価項目は明示しているのか、評価結果を被評価者に知らせているのか、評価結果は何に反映されているのか、人事管理に活用されているのか伺う。

答 (町長) 勤務評定は年2回実施している。評価項目は明示していない。評価結果の開示はしていない。評価は勤勉手当の成績率と昇給に反映している。勤務評定の結果をもとに、人事

配置などの人事管理に活用している。

問 被評価者が評価項目も知らない、評価結果も知らされていないなら、自分がどういった評価を受けているのかわからない、その上で勤勉手当で差をつけられる。透明性がまったくない。

答 (町長) 評価される側が、何によって評価されたのかというのを、明確に開示すべきだと思う。研修させていただく、ことしの12月の査定のときには、そういったものができるようにやっていきたい。

教育格差問題

答 当町の実態は把握していないが、各学校では平等に学力をつけるため取り組みを行っている

問 子どもの貧困率は最悪の16.3%となり、およそ6人に1人が貧困だ。親世代からの貧困の連鎖、親の収入で学力が左右されるといったような格差を生じさせてはならないと思うが、どのように把握されているか。

答 (教育長) 教育格差については、データ等で認識しているが、町内での実態は把握していない。各学校では平等に学力をつけるための取り組みを行っている。

「調べようがない」では格差があるのもわからない。あつたら格差は広がっていくだけ。教育は人格も作る。長洲町においては絶対、親の収入等、様々な状況であっても教育格差は生じさせないという気構えはないのか。

答 (町長) 貧困の連鎖を断ち切るには教育以外ないと思っている。そのために、私も自分なりの施策をやっていく。

子どもの貧困率 (%)

昭和60年 (1985)	63年 (1988)	平成3年 (1991)	6年 (1994)	9年 (1997)	12年 (2000)	15年 (2003)	18年 (2006)	21年 (2009)	24年 (2012)
10.9	12.9	12.8	12.1	13.4	14.5	13.7	14.2	15.7	16.3

(出典)厚生労働省「国民生活基礎調査」

- (注) 1. 相対的貧困率とは、OECDの作成基準に基づき、等価可処分所得(世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得)の中央値の半分に満たない世帯員の割合を算出したものを用いて算出。
- 2. 平成6年の数値は兵庫県を除いたもの。
- 3. 子どもとは17歳以下の者。
- 4. 等価可処分所得金額が不詳の世帯員は除く。



濱崎 久議員

生徒暴力、町の責任を謝罪し被害者に向きあうべき

答 裁判中で答弁控える

問 生徒暴力について長洲中学校が対策をとらず、安全配慮義務に違反したことが『町も教育委員会も責任がある』と、答弁された証ではないか。

答 (学校教育課長) 裁判中で答弁を控える。

問 教育の目的は、生涯に亘るとあるが、被害者側が町に相談を求めたのに、なぜ拒

否したのか。

答 (教育長) 事件後も、サポートしてきたつもりだ、裁判に委ねたい。

問 町長に一言。

答 (町長) 質問を聞いて、原告者の弁護人かなと言

問 町長に聞いてガツカリした。

新たに作る船だまりのヘド口除去費用は

答 県ですするという形だ

問 3月議会で質問した船だまりのヘド口除去費用について、その水深についてどうだったか伺う。

答 (建設課長) 申し訳ない。資料を持ちあわせていない。

問 3カ月前のことも調査していないのか。

答 (建設課長) 現在の県の考えでは、ヘド口除去は県ですという形だ。

きんぎよ村、使用目的外の又貸しについて

答 23年8月頃把握したが

認識がなかった

問 きんぎよ村の建屋に、建築用の床柱や、梁の材木を置いた、又貸しは違反ではないか。

答 (農林水産課長) 24年12月議会で指摘を受け、養魚組合長に対し、ふさわしくない物があれば、撤去さ



船だまり予定地

れるようにとお願いした。

そして撤去されたことにもとづき、きんぎよ村にあるべきものではないと認識した。

問 何らかのケリをつけるべきではないか。過去の墓地改葬も、し尿の件も、小さいうちに処理すれば大きな

問題にならずにすんだものだ。

答 (町長) 行政財産の貸付は厳格にしなければならぬと感じた。

問 ケジメを——課長では出来ないのか。町長の決断を。

(一般質問持ち時間終了)

安全配慮はなされていたのか

町政を問う



福本みや子議員

女性が輝くまちにするには

答 女性人材バンクを設置し、セミナーを開催する

町政を問う

問 女性が活躍する場を作り、地域に魅力を感じれば定住促進につながると思う。地域に密着した活動と自己研鑽に励む女性たちがいる。この人材を発掘し、能力を発揮してもらう場が必要だ。

答 (総務課長) 町政への参画を積極的に進めるため、長洲町女性人材バンクの設置を進めている。長洲で働きたい、経験や特技を生かして地元貢献を考える女性への支援は。

答 (まちづくり課長) 長洲町地域雇用創造協議会の中で起業家に向けた基礎的なセミナーを開催し支援していきたい。

答 (町長) ワーク・ライフ・バランス推進研修や優遇措置を検討していく。介護保険制度内での女性の雇用創出や女性起業家をふやしたり、女性の力が発揮できる社会づくりを目指したい。



待たれる女性起業家

美しいまちづくりは誰がする？

答 町民と一体となり清潔できれいなまちづくりを推進

問 町民参加型の環境美化活動はどう展開しているのか。

答 (住民環境課長) きれいな川と海づくりデーで長洲海岸、新川漁港海岸の周辺町民に参加してもらっている。ボランティア袋の支給も年々増

答 (建設課長) 西塘公園海岸は駐在員さんを通して呼びかけていきたい。町道新塘線は企業とのクリーン作戦として今後検討したい。

問 子どもたちも地域の自然恩恵を受けている。よい人づくりのために環境美化への取り組みは。

答 (学校教育課長) 長洲中学校は平成

12年度から、社会奉仕のAHS活動として清掃活動。清里小学校の駅清掃活動は27年目になる。



ふるさとの海岸は住民の手で美しく



大森秀久議員

町民の健康問題に関し保健師の増員を

答 適正な配置が必要、来年度は検討したい

問 医療や介護の費用を適正にしていくため、さまざまな事業に取り組んでいるが、秋に健康づくり月間を設けることができないか。

答 (町長) 健康や介護の費用を適正にしていくため、さまざまな事業に取り組んでいるが、秋に健康づくり月間を設けることができないか。

答 (町長) 毎年9月を健康増進普及月間と位置づけている。公民館、介護予防拠点を通して、町民みずからが主体的に健康につながる行動が持てるよう、働きかけを行っていく。

問 長洲町の保健師一人当たりの人口は3246人で玉名郡内で一番下。町民全体の健康に関する問題から、計画的に増やす方針が必要。来年の採用計画はどうなっているか。

答 (町長) 6月ごろから町の広報に予防の情報を掲載し、町民が多く集まるような場で注意喚起を行っている。今後は各町内施設等にチラシを置くなど、町民一人一人に情報が行き渡るよう努めていく。

答 (町長) ご指摘のように、健康でも県下トップとなるように取り組み、健康寿命を伸ばしていくために適正な配置が必要と感じる。来年度は検討したい。

熱中症対策に広報車の活用を

答 前向きに検討したい

問 熱中症は7月、8月と暑くなるにつれ発生件数もピークになるが、どのような対策をとるのか。

答 (福祉保健介護課長) 独居高齢者の安否確認をしていただいております。熱中症についても声かけのお願いをしていきたい。広報車は数年前に実績があり、暑さが厳しい時期等を勘案し、前向きに検討したい。

問 独居の高齢者対策と、広報車を出して一定時間回るとかできるか。

答 (学校教育課長) 30度を超える場合も条件によりあるが、毎日、養護教諭が責任を持って予測で注意を児童生徒に伝え、教室の扇風機で換気を行い、中学校では冷水器をフル活用している。

問 小中学校の学校環境衛生基準では教室等は30度以下が望ましいとあるが、達成できているか。

答 (学校教育課長) 30度を超える場合も条件によりあるが、毎日、養護教諭が責任を持って予測で注意を児童生徒に伝え、教室の扇風機で換気を行い、中学校では冷水器をフル活用している。

【保健師活動状況】

*県庁ホームページより

区分	自治体名	保健師数 (H25.5.1)		一人当りの人口(人)	人口等 (H24.10.1)			
		保健所等(人)	自治体(人)		推計人口(人)	65才以上人口(人)	高齢化率(%)	高齢化率順位
荒尾・玉名	長洲町	6	5	3,246	16,230	4,515	27.82%	36
	玉東町		4	1,367	5,468	1,678	30.69%	28
	和水町		8	1,359	10,873	3,974	36.55%	8
	南関町		5	2,053	10,265	3,364	32.77%	22
	玉名市		20	3,434	68,685	19,685	28.66%	34
	荒尾市		16	3,415	54,645	16,053	29.38%	30
類似町	御船町	7	6	2,942	17,649	5,071	28.73%	32
	山都町		12	1,349	16,182	6,653	41.11%	2
	あさぎり町		8	11	1,472	16,189	5,042	31.14%

*類似町は人口から長洲町に近いところを抽出

*荒尾市・玉名郡市は有明保健所、御船町、山都町は御船保健所、あさぎり町は人吉保健所



竹本信次議員

今こそ、地元で就職促進と雇用の拡大を!!

答 本年より地域資源で雇用を創造する事業に取り組みたい

町政を問う

問 地元で魅力ある多様な就業の機会の創出を図るべきでは。

答 (町長) 厚生労働省所管事業の委託を受け、本年7月より3年間、長洲町地域雇用創造協議会を柱に就職促進・新商品開発セミナー・起業化に向けた取り組みを

展開し、地域資源を活かして雇用を創造したい。

問 長洲町の労働市場の現況は。

答 (町長) 玉名管内(荒尾市・玉名郡市)の4月の有効求人倍率は0.85と回復し、前年同月比で0.07ポイント上回っ

ている。新規求人数の主要産業別では、製造業、建設業、特に医療・福祉の増加が目立っている。

問 本年の新卒者(男性・女性)採用状況は。

答 (町長) 町の労働人口は、4727名で昨年比すべて約130名増加し、

町内企業の本年新卒採用は、大卒45名、高卒85名の130名(内女性7名)で、昨年より46名の増となった。長洲町企業連絡会議が昨年

から開催され、企業担当者と高校進路担当者との交流や雲仙・島原の高校との交流も広まっており、その効果ではないかと思う。

町・商工会・金融機関等と連携し、起業・創業希望者への窓口相談や個別経営相談の支援をしていきたい。

問 金魚と鯉の郷の一角に金魚繁殖池等を提供され、金魚養殖業になりたい若者を呼び込んで起業支援を行い、観賞魚フエア、金魚グッズや金魚ネット販売等を活用するなど、

売展開ができないか、また新しい金魚の品種改良等も考えている。若い後継者の創業支援を行い、新たな交流・集客の推進を図っていくことが、地方創生に向けた課題だと思っている。

地域の特色や地域資源を生かした起業・創業支援を!!

答 『創業支援ワンストップ窓口』の充実を図っていききたい

問 まちづくり課に設置された『創業支援ワンストップ窓口』では、どういう起業・創業支援の相談をされているのか。

答 (町長) 昨年施行の産業競争力強化法により創業支援事業計画を策定し、本年6月に無料創業相談窓口を設置した。

答 (町長) 長洲のミジンコを商品化し全国に販



地域資源を生かした起業・創業支援を



若者が元気のでる雇用対策を



地域の方々に見守られている「放牛地藏」
(上沖洲区)



荒木睦子議員

長洲町歴史の史跡や文化財を語り継ぐには 答 保存資料の展示コーナーを前向きに検討

問 長洲町には、歴史を物語る史跡や文化財が数多く存在している。その貴重な財産を伝え、紹介するための町の取り組みは。

答 (教育長) 指定の経緯を記した案内板や歴史散歩案内図を作成、また、広

報がすぐに文化財を紹介する連載コーナーを設けている。

問 古い資料や重要な資料等が保存されているが、歴史資料館でも作って展示できればと思っただが。

答 (町長) 保管場所をきっちり

としておかなくてはならない。それに向けて整備していく。

問 公共施設の一角にでも展示コーナーをつくってはどうか。

答 (生涯学習課長) 関係者の方々と協議をし、できるだけ早く展示できるようにしたいと思う。

問 文化財等が存在する場所の整備を考

答 (生涯学習課長) 町指定の文化財の中

でも、まだまだ整備が十分できていない所がある。町の文化財保護委員さんと現状の把握をし、今後課題を整理していく。

高齢者にやさしい支援を

答 有償ボランティア制度を検討

問 介護保険の対象になりにくい、元

来高齢者が生活するなかで、チョットした困り事の支援(電球替え・重いものの移動・掃除等)の考えは。

答 (町長) 地域におけるボラ

ンティアの育成や活用について、シルバー人材センターや社会福祉協議会と連携しながら、

地域における支え合いの体制を構築していく。

問 ボランティアとして協力していただ



あたたかい支援を!!

く方で、講習を受けた方は何名ほどおられるのか。

れまで129名の方が講習を受けられています。

答 (福祉保健介護課長)

平成22年から国等の補助事業を活用しながら、生活介護支援サポーターを養成し、こ

※3つ目の質問として、2020年からの小学校5・6年生への英語導入に向けた体制づくりを問うた。



磯野 博議員

交通安全対策、総合的な見直しの時期では

答 町民の安全を守るため、見直しをやっていく

問 交通安全対策上、町内の危険箇所は把握されているか。

答 (総務課長) 荒尾警察署、交通

安全協会、総務、建設課と合同で危険箇所点検を年に2回実施している。34カ所の危険箇所を確認している。

問 通学路内の危険箇所は。

答 (学校教育課長) 教育委員会としては平成24年度に緊急合同点検を実施している。その時27カ所を確認している。そのほとんどが改修しており、残りは警察にお願いしている。

学校教育課と点検箇所
の調査を合同で行いた
いと考えている。

答 (町長) 都市計画道路の供
用開始が2年後と聞い
ている。交通の流れが
大きく変わることが予
想される。総合的な交
通安全対策の見直しを
考えていく。

問 交通安全対策だが
将来に向けて総合
的に見直す時期に来て
いるのではないか。

考えていく。

注意喚起する看板の設置を

答 必要性は感じており、検討する

問 公共施設
の敷地内
における管理
はどうなっ
ているか。

答 (町長) 町内には
多種多様な公
共施設が存在
しており、そ
の管理方法に
ついては、施

問 公共施設
の敷地内
における管理
はどうなっ
ているか。

答 (総務課長) 注意喚起をする必
要性は感じてい
る。今
後、荒尾署にも相談し
て、どのような方策が
良いかを検討する。



交通量の多い交差点(国道501号)

答 (総務課長) 建設課には情報を
提供している。今後は

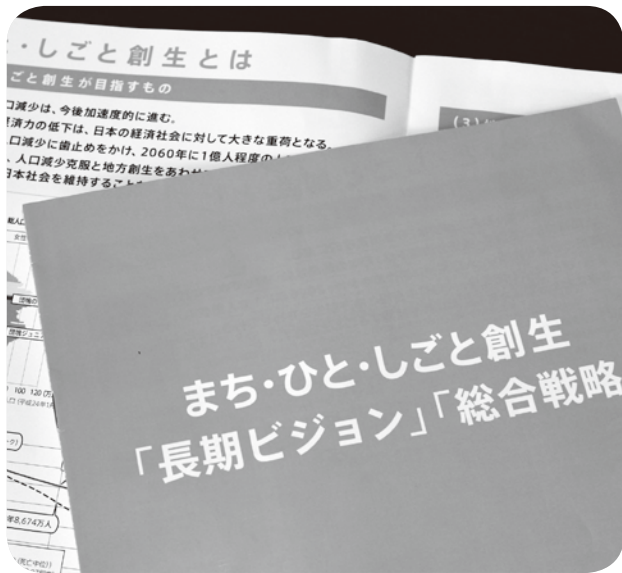
問 横のつながりを持
つて、町職員はど
のくらい危険箇所を認
識しているか。

答 (総務課長) 現場を警察と立ち
会い、交通安全上危険
度が高いところの優先
順位を上げている。



敷地内は徐行で(役場駐車場)

答 (町長) 町内には
多種多様な公
共施設が存在
しており、そ
の管理方法に
ついては、施



まち・ひと・しごと創生「総合戦略」



浦辺朝章議員

地方創生、どうする住民参加

答 多くの声を聞き、総合戦略を策定する

問 地方創生に住民の参加が必要。住民の意見をどう取り入れるのか。

答 (町長) 各種団体や有識者による長洲町地方創生協議会を7月に設立

し、意見を求める。また、金融機関や経済団体とも意見交換を行う。町民アンケートやホームページを利用して幅広く意見を求めていく。

問 企業等への支援や連携は。

答 (町長) 基本目標の一つに安定した雇用の創出がある。そのためには企業との連携が必要。企業と連携して取り組みたい。

問 地域産業へ育成と推進は。

答 (町長) 農業・漁業等の第一次産業へ新規参入しやすい環境整備に取り組み、産業活性化、雇用機会の確保や創出につなげたい。

問 特産品等のブランド化は。

答 (町長) 特産品の地元でのPR活動、消費、販売が重要。ミニトマトの地元販売を検討中。金

魚、ノリ、アサリ等の特産品も生産者、関係団体と連携しブランド化、販売高向上に取り組んでいく。

問 限られた期間での総合戦略実施をどう考えるか。

答 (まちづくり課長) 総合戦略は計画を作って終わりではなく、

空き家の活用と定住化をどうする

答 しっかりと対応していきたい

問 空き家の調査方法はどうするのか。

答 (町長) 各区の駐在員からの情報と各区担当の職員による状況調査を整理、特定空き家については県建築士事務所協会と委託契約を結び調査する。

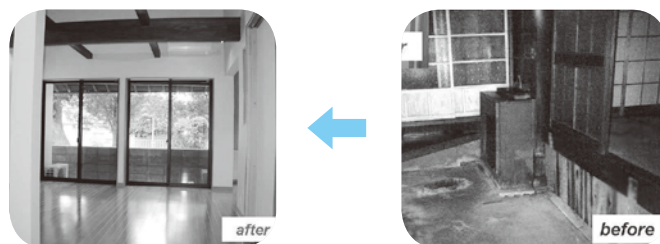
事業を実施実現していく。PDCAサイクル(計画・実行・チェック・行動)の中で成熟させていく必要がある。

問 長洲町の人口ビジョンはたてるのか。

答 (まちづくり課長) 現在、町の人口分析を行っている。7月中に策定の予定である。

問 空き家の活用について、考えは。

答 (町長) 町外からの移住促進と空き家解消を目的とした中古住宅リフォーム補助を行う。また、空き家等対策計画を策定、活用と定住化を検討していきたい。



リノベーションされた空き家

問 定住支援と助成制度の検討は。

答 (町長) 定住支援と助成制度については、いろいろなご意見を聞き検討していきたい。

傍聴席から

長洲に帰ってきました



大石 洋さん (東荒神区)

皆様こんにちは。私は昨年、家業を継ぐために東京から帰ってきました。20年ぶりの長洲生活は想像以上に快適であり、役場や町民の方々に感謝する一方で、少子高齢化等の不安も感じることから、この度、議会を傍聴致しました。議員の質問は、安全や教育をはじめ、未来に繋がる内容が多く、議会が町民の声を確実に町に届けるため、そしてより良い町になるための解決現場であることを実感致しました。これからは、私も町の発展に協力させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

町が身近に!



島津 由美さん (大明神区)

長洲町を知ることが出来ました。

開会を知らせるチャイムに心が引き締められ議長さんの開会宣言で定例会が始まりました。

議員の方々が町の発展、町民の生活向上、町の未来をになう子どもたちのために一所懸命取り組んでおられる姿を見ること・聞くことを通して長洲町を知ること身近になりましたので、勇気を出して傍聴に参加して良かったと思いました。

ひと言

梅雨明けが待ち遠しい7月中旬、この『ひと言』を執筆している。

(役場エアコンが故障しているので非常に暑い!)

去る7月8日、荒尾市万田坑、宇城市三角港を含む「明治日本の産業革命遺産」についてユネスコの世界遺産委員会において、県下初の世界文化遺産として正式に登録された。

明治時代の産業革命の努力が世界から評価されたことに、日本国民

としてとても誇らしく思うと同時に、私たちに先人が築いた歴史を次の世代へ伝えていく使命が課せられている。

そして今年で戦後70年を迎える日本、戦争を知らない私も含め、激動の時代を力強く生き抜いていきたい! (磯野)

皆さん傍聴に出てこんわ!

次の定例会は

9月14日(月)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先

議会事務局

電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

発行責任者	議員	委員	委員	委員	委員	副委員長	広報委員
松井一也	市原一広	磯野博	荒木睦子	大森秀久	福本みや子	竹本信次	徳永 範昭